

法学会雑誌第六五卷

(通卷 自第二三八号
至第二三〇号)

総目次

論 説

子どもをめぐる規範理論……………	大江	洋	六五	一	(二二八)	1	(二〇八)
宗教を政治的に考える ——ドゥオーキンとヴィーロリの							
宗教観の比較を通して……………	大森	秀臣	六五	一	(二二八)	一	(一)
新技術と捜査活動規制(1)							
——合衆国最高裁 Riley 判決の検討をきっかけに……………	山田	哲史	六五	一	(二二八)	31	(二七八)
ドイツ・公務員の人事評価……………	藤内	和公	六五	一	(二二九)	1	(六九二)
国立大学給与減額事件3判決の検討……………	藤内	和公	六五	一	(二二九)	165	(五二八)
Roberto Unger の批判法学批判 ——『批判法学運動』における形式主義批判・							
客観主義批判についての覚書……………	吾妻	聡	六五	一	(二二九)	一	(二二一)
担保保存義務に関する一考察 ——沿革的・比較法的考察(一一)……………	辻	博明	六五	一	(二二九)	七五	(二八五)
新技術と捜査活動規制(2・完) ——合衆国最高裁 Riley 判決の検討をきっかけに……………	山田	哲史	六五	一	(二二九)	193	(五〇〇)

ドイツの人事評価

—— 労使協定等の分析を通じて ——	藤内 和公	六五	一三・四	(二二〇)	1	(一三二二)
事前求償権による仮差押えと事後求償権の時効中断	吉岡 伸一	六五	一三・四	(二三〇)	一	(六九五)
いじめと学校の責務						

—— 事例を想定しての検討 ——

反SLAPP法と表現の自由	中富 公一	六五	一三・四	(二三〇)	71	(一二五二)
支配権異動を伴う第三者割当に係る特則に関する一考察	吉野 夏己	六五	一三・四	(二三〇)	一五	(七〇九)
市民性教育とリベラルデモクラシー	米山毅一郎	六五	一三・四	(二三〇)	七五	(七六九)
大学校における人的ネットワークの形成	大江 洋	六五	一三・四	(二三〇)	109	(二二一四)
「もう一つの」批判法学による法教育	築島 尚	六五	一三・四	(二三〇)	145	(二一七八)

—— 提案と趣旨説明 ——

刑事訴訟における解明度	吾妻 聡	六五	一三・四	(二三〇)	195	(二二二八)
組織再編成における課税関係の継続と断絶	原田 和往	六五	一三・四	(二三〇)	247	(二〇七六)
いわゆる憲法訴訟における主張責任及び	小塚 真啓	六五	一三・四	(二三〇)	319	(二〇〇四)
証明責任の周辺について	堀 清史	六五	一三・四	(二三〇)	375	(九四八)

—— 米国におけるCharming Betsy Canon

紹介を中心に	山田 哲史	六五	一三・四	(二三〇)	399	(九二四)
「忘れられる権利」の位置付けに関する一考察	村田 健介	六五	一三・四	(二三〇)	493	(八三〇)

研究ノート

知識人と「教養」(二三)

——丸山眞男の教養思想——……………西村 稔 六五―一 (二二八) 六一(六一)

知識人と「教養」(四)

——丸山眞男の教養思想——……………西村 稔 六五―二 (二二九) 八九(二九九)

判例研究

民法九一五条の熟慮期間の起算点に関する

最近の二つの裁判例……………吉岡 伸 一六五―二 (二二九) 一七七(三八七)

資料

試訳・イタリア墓地埋葬法関係法令集……………田近 肇 六五―二 (二二九) 243(五一六)